

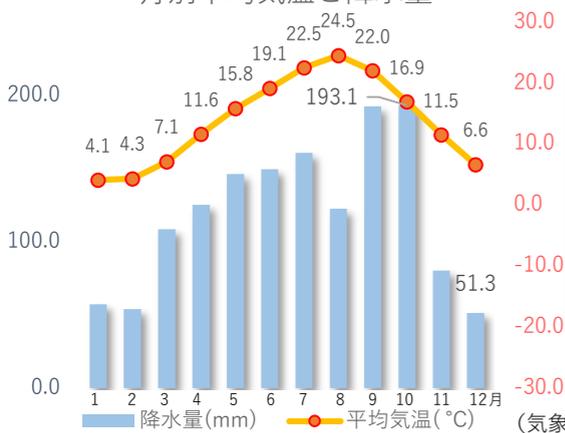
管内概況

位置及び地勢



気候

月別平均気温と降水量



人口及び面積



いわきの農林業

Agriculture and Forestry of IWAKI

令和5年度版

福島県いわき農林事務所

2023(R5)年4月1日

管内農林業の概況

当事務所が所管するいわき市は、福島県の南東部に位置し、標高0～964m、東西39.0km、南北51.5kmの規模を持つ広域都市です。

東は太平洋に面し、南は茨城県に接しており、西の阿武隈高地を水源とする夏井川、鮫川等が太平洋に注いでいます。

交通体系は、南北に常磐自動車道・国道6号とJR常磐線が縦断し、東西に磐越自動車道・国道49号とJR磐越東線が横断するほか、海の玄関口として重要港湾小名浜港を有しています。

気候は、海洋の影響で年間を通して気温較差が比較的少なく、年間平均気温は約14°Cです。また、日照時間は年間2,000時間を超える本県で最も温暖な地域です。

降水量は全国平均より少なく、年間総降水量は1,400mm程度です。また、降雪は山間部を除きほとんどありません。

いわき市は、昭和41年10月石城地方の5市3町4村と双葉郡の1町1村の合併により誕生した広域都市です。

面積は1,232.02km²で県土の8.9%、人口は令和5年4月1日現在322,732人で県人口(1,773,723人)の18%を占めており、市町村別人口は第1位です。

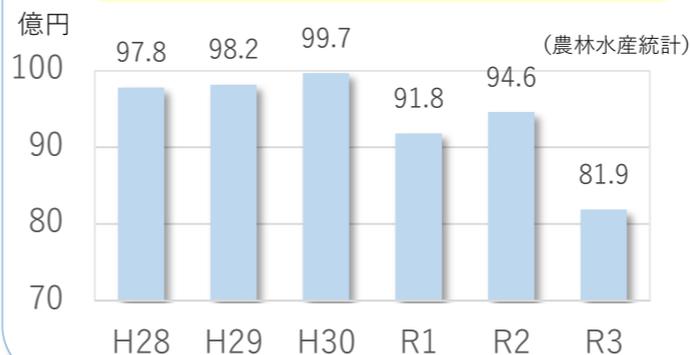
また、平成11年4月1日、県内では郡山市に次いで2番目に中核市に移行しました。

農業産出額の推移

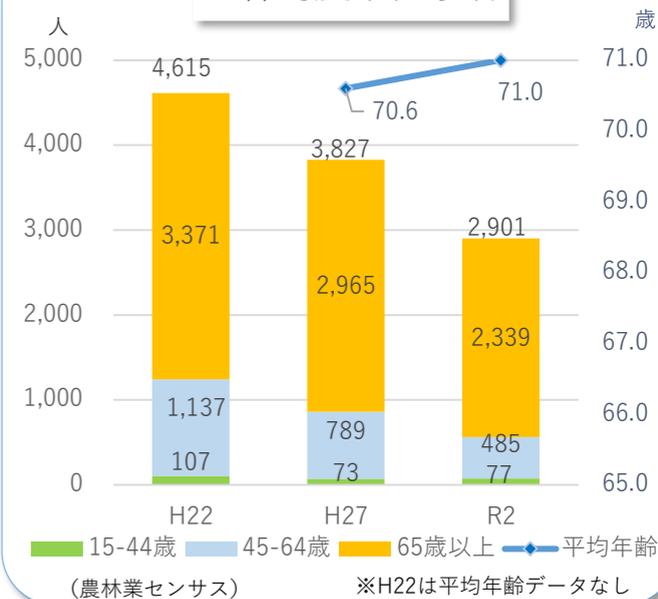
いわき市の農業産出額の推移

震災後増加傾向にあったが、R1は東日本台風等の被害により減少した。R3は米価下落の影響等により減少したとみられる。

R3 81億9000万円(県内9位)

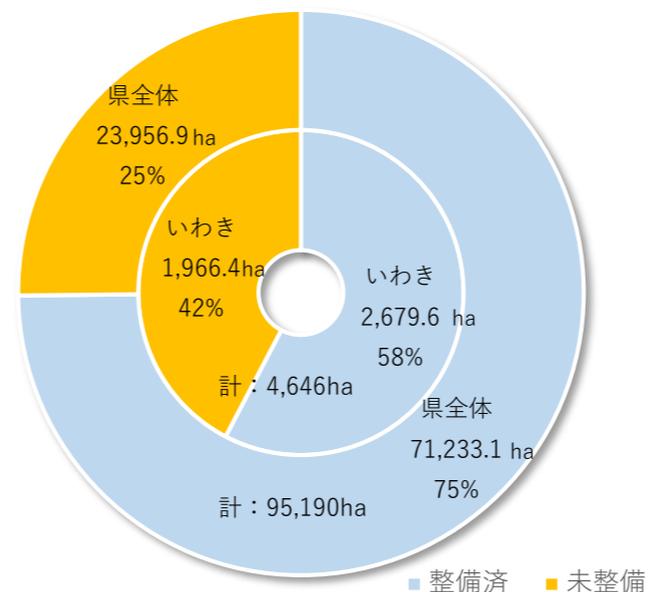


基幹的農業従事者



水田の整備面積と整備率 (R4)

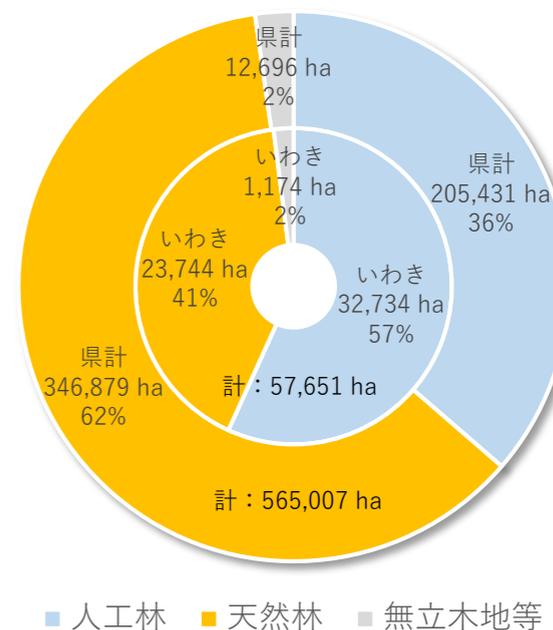
(農村基盤整備課調べ)



・対象面積は、「福島県農林水産業振興計画」の整備対象面積による
・東日本大震災に伴う津波被災分を考慮している

民有林相別森林面積 (R3)

(福島県森林・林業統計書)



2 持続的な発展を支える 生産基盤の整備と担い手の確保

(1) 農業を支える担い手の確保・集落営農の推進

ア 多様な担い手の確保・育成
イ いわき地域就農支援センターとの連携

- 認定農業者数：283経営体（R5.3月末）
- 新規就農者数：49名（R3.5.2～R4.5.1）
- 農業法人数：90法人（R5.3月末）
- 担い手への集積面積：2,410.1ha（R4.3月末）
- 人・農地プラン策定：32地区（R5.3月末）
- 農業次世代人材投資資金（経営開始型）活用者数：5名（R4）
- 新規就農者育成総合対策（経営開始資金）活用者数：2名（R4）



リモート就農相談



法人への経営指導

(2) 生産基盤の整備

ア ほ場整備と広域農道整備の推進

- 農地中間管理事業
山田・神谷地区、神谷第二地区（R5新規）
- 復興再生基盤整備事業いわき地区（広域農道）
全長 L=9,823m（R4まで:9,351m,95%）



整備中の農道（いわき地区）



整備された森林（田人地区）

イ 森林整備と林道等路網整備の推進

- 森林整備：719ha(R3)
森林環境保全整備事業、ふくしま森林再生事業、森林環境基金森林整備事業など
- 路網整備：973km(R3までの総延長)
森林居住環境整備事業、林業専用道整備事業など



整備中の林道（永井川前線）

1 東日本大震災及び原子力災害からの復興

大震災（津波・地震）からの復旧・復興

- 津波被害農地のほ場整備
夏井(A=157.4ha,R3完)
- 風評の払拭
- 出荷制限等品目のモニタリング検査
- 農林水産物の安全性に関する情報発信



夏井地区



いわき農林水産ニュースによる情報発信

3 地域の特性をいかした安全・安心な農林水産物の提供

(1) 主要園芸品目の産地充実・強化

ア トマト(ミニトマト)：ICT技術活用による生産安定
イ 日本なし：生産性向上のための改植・ジョイント栽培導入推進
ウ りんどう：発生消長に応じた病害虫対策
エ トルギキョウ：団体活動支援、技術の高位平準化

- トマト(ミニトマト) 出荷量 1,568 t (R4)
- 日本なしジョイント栽培導入面積 32a(R4)
- りんどう単収 17.2千本/10a(R4)
- トルギキョウ単収 12.1千本/10a(R4)



梨ジョイント栽培研修会



サンシャインいわき トマト・ロゴマーク
(登録日：R2.1.7)

(2) 気象条件、標高差をいかした園芸品目の振興

ア 大規模施設によるトマト養液栽培の導入
イ 中山間地域での園芸振興

- トマト養液栽培 11経営体、1,919a(R4)
- 中山間地域での園芸振興
・全域：ピーマン(96.2a)(R4)
・川前地区：夏秋ねぎ(6a)(R4)



いわき地方GAP推進協議会

(3) 農産物及び生産活動の安全確保

ア 事業活用によるGAP認証取得の推進
(ア) 推進体制の整備(いわき地方GAP推進協議会)
(イ) JA生産組織、大規模法人への取得誘導

- GAP認証取得実績(累計) 51件(R5.3月)

(4) 豊かな森林資源をいかした主伐・再生林の推進

ア 主伐から再生林までの一貫施業システムの導入による作業の効率化

イ 皆伐・再生林の取組支援

- 人工林率 57% (県平均36%)
- スギ人工林の5割が10齢以上
- 素材生産量(民有林) 151,471m³ (R2)



林業技術伝承事業現地調査

流通・販売の強化
のブランド力

(5) 輸出への取組

ア 「サンシャインいわき梨」のベトナム輸出(H29～)
(ア) JA、JA梨生産部会、いわき市、ジェットロ等の連携
(イ) 販路拡大

- R1実績 6.7t (幸水、豊水、新高)
- R2実績 6.0t (幸水、豊水、新高)
- ※R3休止
- R4実績 4.0t (豊水、新高)



サンシャインいわきなし・ロゴマーク
(登録日：R2.1.7)

(6) 県産農産物のPR

「おいしい ふくしま いただきます！」
キャンペーン
GAP認証農産物のPR、地産地消の推進、消費者理解促進



キャンペーンの様子

- キャンペーン開催回数
R4 4回(6月,10月,1月,フォトコンテスト(8～11月))

(7) 6次化商品の開発支援

ア ふくしま地域産業6次化サポートセンターとの連携
イ 高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発
(ア) 若者の発想力を生かしたレシピ開発
(イ) 地元農林産物の魅力発信



高校生と飲食店の共同開発商品

- レシピ応募総数 6校 46作品 (R4)

(8) 林業の成長産業化の推進

ア 高い人工林率や活発な木材産業などを活かした関係者の連携強化、ICTなど先端技術の活用による森林・林業の活性化
イ 持続可能な林業推進
ウ 「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」の制定(R3.4.1)



スマート林業構築実践事業現地調査

- 森林認証材の活用 13,484m³ (H31～R3)

(9) ブランド力強化の推進

農林水産部公式YouTubeチャンネル(1400のネタばらし)の動画制作



「1400のネタばらし」動画公開

- 動画公開数 19本 (R4)

4 地域の特性をいかした農山漁村の形成

(1) 防災・減災対策

ア ため池の洪水被害防止
(ア) ため池劣化状況評価 163/163箇所(100% R4)
(イ) 防災重点農業用ため池防災工事 10地区(R7～R12)着手予定

イ 山地災害防止
(ア) 県土保全上重要な森林を保安林に指定
(イ) 治山施設等整備

- 山地災害危険地区着手率 65.4%(R4)



萱手池(泉町下川)



治山ダム(江尻地区)

(2) 農山漁村の多面的機能の発揮

ア 若い世代の意識醸成
(ア) インターンシップ研修の開催
(イ) 農林業体験ツアーの実施
(ウ) 県民参加の森づくり

- 森林づくり活動参加者数 19,100名 (R3)

イ 鳥獣被害対策

- 電気柵等設置指導集落数 2箇所/年(R4)



インターンシップ研修

1 農業振興の取組

(1) 気象条件を生かした園芸品目の推進

ア いちご

- (ア) いちごの栽培面積は4.1ha、うち観光いちご園が1.5ha
- (イ) 県オリジナル品種「ふくはる香」の導入面積が約54%
- (ウ) 高設養液栽培導入による省力化の取組

イ 大型トマト施設の導入

- (ア) 温暖で豊富な日射量を生かし、補助事業を活用したトマト施設の導入 (R4年度実績 9経営体、8.53ha(園芸振興プロジェクト))
- (イ) 6経営体※+市場・JAで「サンシャイトマト出荷協議会」を構成、「サンシャインいわきトマト」ブランドとして、県内外に出荷、販売
※農事組合法人 大野水耕生産組合、(有)とまとランドいわき、(株)あかい菜園(株)、(株)JRとまとランドいわきファーム、(株)ネクストファームいわき、(株)ナラハプラントファクトリー
- (ウ) 令和2年1月にロゴマークが商標登録、PR面で大きな効果



トマトハウス内の状況

ウ 養液栽培施設の導入

- (ア) 養液栽培の大半がトマトで、その他はいちご、葉ねぎ等
- (イ) 環境制御装置を導入した養液栽培による長期出荷、安定多収・高品質化、作業の省力化の取組

エ 中山間地域での園芸振興

- (ア) 冷涼で寒暖差が大きい気象条件に適した、中山間地域における推奨品目選定のための実証栽培に取り組んでいる。
- (イ) 中山間地域でのモデルとなり得るブランド品目の確立
- (ウ) 実証品目
夏秋ねぎ (川前地区) : 他産地との競合回避、秋冬ねぎの流通体制を活用
ピーマン (全域) : 軽量で栽培しやすく、高齢者でも収穫が容易

(2) いわき産農林産物のPR

ア 地産地消・食農教育・消費拡大の取組

- (ア) 学校給食における県産農林産物の活用 (地産地消率・グラフ右下)
- (イ) ふくしま食育実践サポーター登録: 22の個人又は団体 (R5.2月現在)
- (ウ) 「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業 (H27~) 販売促進活動や商品の魅力向上の取組を支援 (R4: 3団体)
- (エ) 「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーン (H23~) 地元農林産物の魅力やGAPの取組をPR (R4: 4回実施)
- (オ) 農林業体験ツアー (H30~) いわきの中山間地域において大学生等を対象とした体験ツアーを実施



農林業体験ツアー

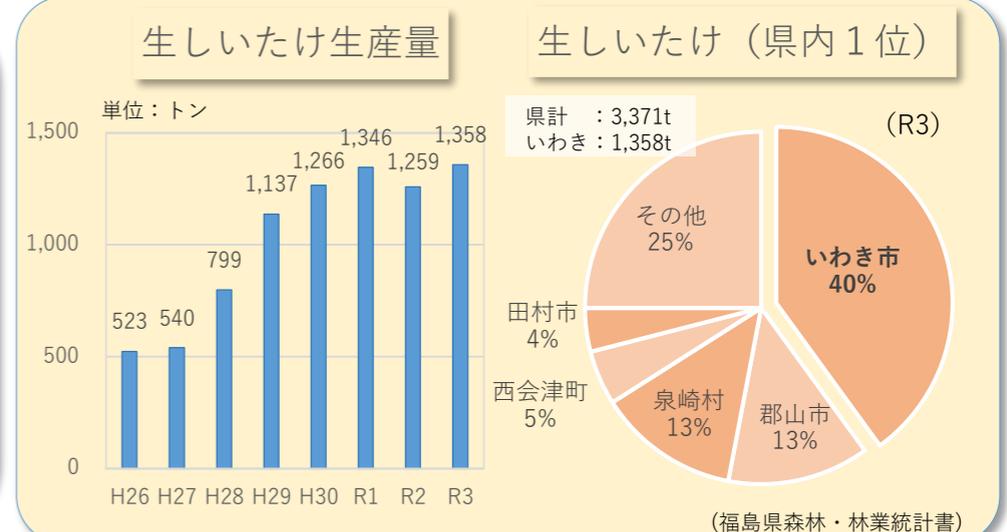
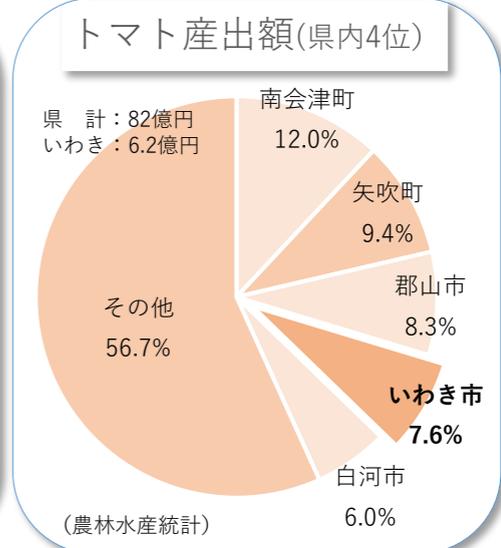
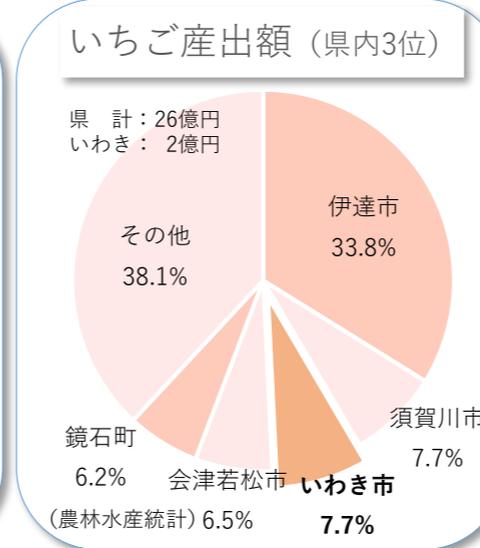
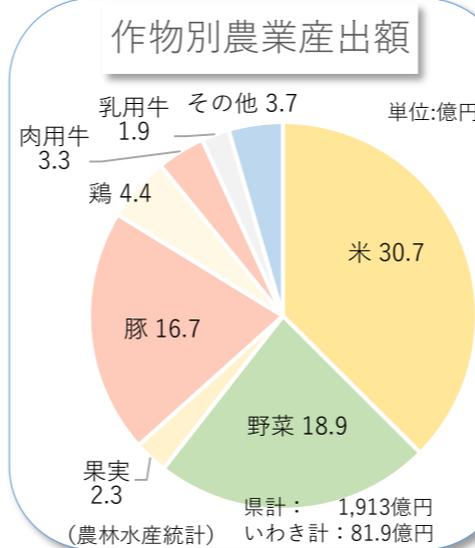
イ 地域産業6次化の取組

- (ア) 高校生発! いわきテイクアウトメニュー開発事業 (R2~)
- (イ) いわき地域産業6次化ネットワーク会員数 274名 (R4)
- (ウ) ふくしま地域産業6次化新商品カタログ掲載 16品 (R3)

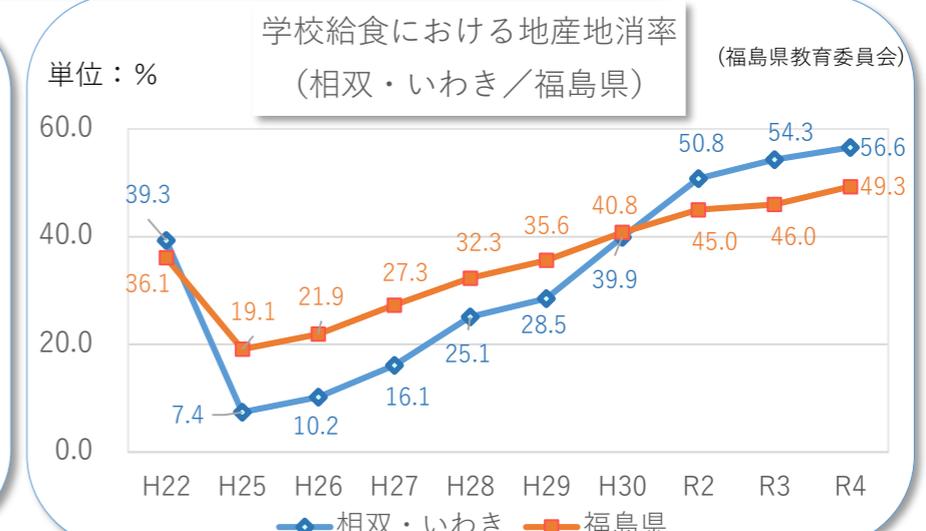
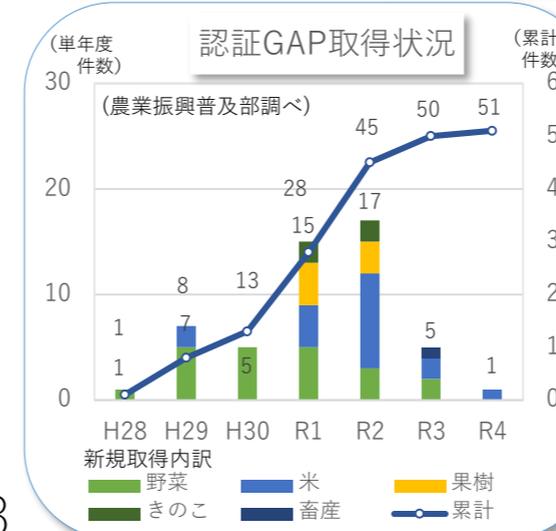


高校生テイクアウトメニュー開発お披露目会

2 いわき市の主な農林産物 (令和3年度産出額等)



3 「いわきならではの」魅力PR



1 農村整備の取組

(1) ほ場整備の推進

ア 大型機械の導入による省力化や農地の汎用化が図れるよう、農地の区画整理や水路、農道などの農業生産基盤を一体的に整備する。

イ ほ場整備を契機として、担い手農家や生産組織の育成、農地の利用集積、高収益作物の導入を推進する。

[実施地区] 山田地区(勿来)、神谷地区(平)、神谷第二地区(R5新規)(平)

(2) 農業水利施設の効率的な更新

幹線用水路、取水堰、用排水機場などの農業水利施設は多くが戦後から高度経済成長期にかけて整備しており、施設の老朽化が進行していることから、突発事故等のリスクが年々増加している。そのため、施設の長寿命化や、将来の更新費用等のライフサイクルコストの低減を図るため、施設の機能診断を行い、効率的な更新を実施する。

[実施地区] 夏井川左岸2期地区(R5新規)(平)、鮫川堰(R5新規)(渡辺)

(3) 農道整備の推進

農作業における利便性の向上と農産物流の効率化を図るとともに農村生活環境の向上を図るため、大型車輛の走行が可能となる農道を整備する。

[実施地区] いわき地区(小川、四倉)

(4) 防災重点農業用ため池整備の推進

防災重点農業用ため池について、令和6年度の調査完了を目標に実施する劣化状況調査及び耐震性調査の結果を基に、令和7年度から緊急性が高い順に整備を行う。令和5年度は、市が実施する調査計画事業について支援を行う。

(5) 多面的機能支払交付金事業の取組

ア 農業・農村の有する「国土の保全」「水源かん養」「良好な景観の形成」といった多面的機能の維持・発揮を図るための水路の泥上げや草刈り、植栽による景観形成活動などの地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全を推進する。

イ 流域治水対策として「田んぼダム」の取組の推進を図る。

(6) 「生きもの調査」の取組

農村地域の将来を担う子どもたちが、農村地域の重要な要素である水田、畑、水路等での農業体験を通して「農業・農村地域の大切さ」「環境の大切さ」「食・命の大切さ」について理解を深めることを目標とした体験型学習「生きもの調査」を実施する。

農業農村整備事業実施一覧表

事業名	地区名	工期	全体			
			事業量	事業費(千円)	令和5年度 事業費(千円)	
県営水利施設長寿命化対策事業	夏井川左岸2期	R5~R7	用水路補修工 L=600m	119,890	47,956	
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	鮫川堰	R5~R6	用水路補修工基本設計	110,515	39,269	
農地中間管理機構関連農地整備事業	山田	R2~R7	区画整理工 A=41.7ha	838,000	10,000	
	神谷	R3~R8	区画整理工 A=40.9ha	962,000	57,000	
	神谷第二	R5~R10	区画整理工 A=64.8ha	1,316,000	63,000	
広域営農団地農道整備事業	復興再生基盤整備事業 (通作条件整備型広域農道)	いわき	H3~R6	農道工 L=9,823m	11,949,699	150,000



ほ場整備 (山田地区)



水利施設の整備
(夏井川左岸地区)



整備後の上仁井田頭首工



農道整備 (いわき地区)



「多面的機能支払交付金事業の取組」
植栽による景観形成活動



「生きもの調査」
水路で生き物調査を行う児童たち

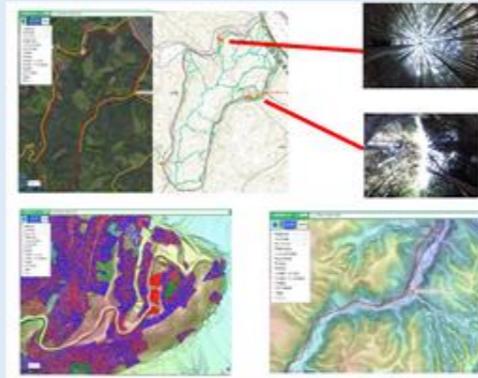
1 森林・林業・木材産業の取組

(1) ICTなど先端技術の活用等による森林・林業の活性化

いわき地方の高い人工林率と活発な木材産業によるさらなる林業の成長産業化を目指した取組を実施

ア 森林認証の取得

いわき市森林組合が平成30年に三和町の6,794haについて森林認証を取得。遠野興産(株)取得分なども含め、いわき市全体で7,586haの森林認証を取得



地域版森林クラウド画面イメージ

イ いわき市持続可能な森林・林業推進会議

持続可能な森林・林業の実現化に向け平成30年度に設立(いわき地区林業活性化センターを事務局に国や県、市、素材生産業者、製材加工業者、学識経験者などで組織)。サプライチェーンマネジメント推進体制の構築による林業成長産業化を目的に、スマート林業構築実践事業(※)の取組を行った。

※ スマート林業構築実践事業

木材(森林認証材)について、森林から製材工場、木材製品に至るまでの物流の情報を共有し、効率化を図るシステム構築に向け、令和元年度から3か年計画で事業を実施し、森林蓄積情報などの共有可能なシステムを構築した。



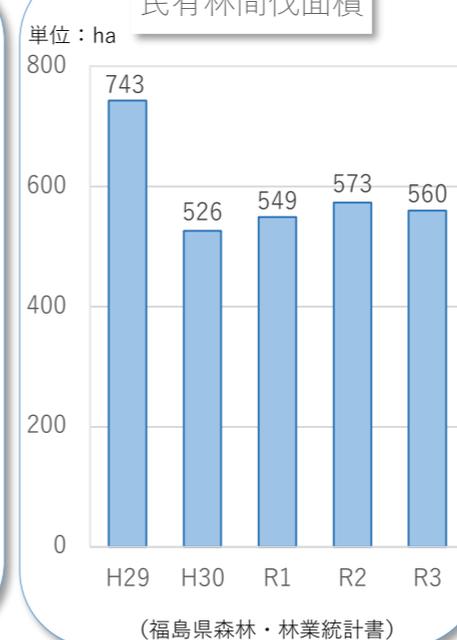
高性能林業機械による地帯え

2 林業データ

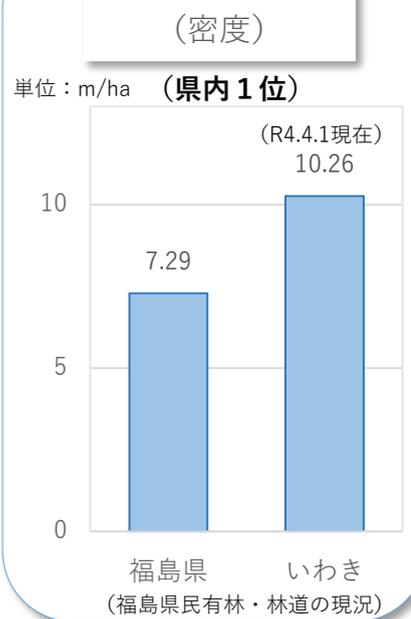
素材生産量



民有林間伐面積



林道路網整備状況



3 林業の基盤整備と山地災害防止の取組

区分	事業	地区	内容	事業費 [千円]
林道事業	森林居住環境整備	永井川前線	工事：W=4.0(5.0)m、L=32.8(560.0)m	116,500
	保育	新舞子ほか	森林整備：7.15ha	8,009
治山事業	治山施設事業	根小屋	工事：床固工N=1基、補償	35,000
		下毛	工事：床固工N=1基、山腹工A=0.19ha	79,200
		脇ノ作	工事：山腹工A=0.03ha、測量・設計	23,000
小計				145,209
合計				261,709

(1) 林道等路網の整備

木材等の林産物の搬出や森林の適正な管理、林業経営に必要な資材や機械の運搬を効率的に行うため、重要な基盤となる林道や作業道などの路網整備を実施。

(2) 治山事業の実施

森林の適正な維持・造成を主体として、山崩れや土石流、地すべり等の災害を防ぐとともに、水源かん養機能や保健休養機能などの森林の有する様々な機能を向上させるため、治山事業を実施。



林道専用道



土留工、山腹工

○参考

「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」

いわき市では、林業及び木材産業の持続的かつ健全な発展による地域経済の活性化や、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に寄与することを目的に令和3年4月1日より条例を施行。

東日本大震災

1 復興の取組

- (1) 6次産業化ネットワーク活動交付金事業 ((株)ワンダーファーム)
- (2) 浪江町から避難した畜産農家の営農再開 ((株)ビーフジャパン)
- (3) 園芸産地復興支援対策事業 (トマト用栽培ハウス (農事組合法人菊田の郷助川農園))
- (4) 復興基盤総合整備事業による農地の復旧 (下仁井田、錦・関田、夏井)
- (5) 菌床しいたけ生産施設 (農事組合法人いわき菌床椎茸組合)

2 復旧の状況

津波被害からの復旧



A 下仁井田地区



B 錦・関田地区



C 夏井地区



④夏井川の氾濫 (平窪地区等)



令和元年東日本台風

1 農業被害

①〈トマト栽培施設〉



【被害状況】

- 311.4ha、3億8,412万円
- (1) 浸水、土砂流入等による水稻、ねぎ、トマト、日本なし等
 - (2) ビニールハウスや選果機等

【復旧状況】※R2完了

- (1) 流入した土砂撤去
- (2) 被災した施設の再建や機械の再取得
- (3) 営農継続に必要な支援
- (4) 早期の営農再開に向けた土作りや栽培技術支援
- (5) 営農準備、肥料設計支援
- (6) 樹体洗浄等による樹勢回復

2 農地等被害

②〈小川町落合地区〉



【被害状況】693箇所、47億6,100万円

- (1) 農地
- (2) 排水機場、頭首工、水路等
- (3) 集落排水施設

【復旧状況】※R4完了

- (1) 県営 2箇所 (頭首工、排水機場)
- (2) 市 83箇所 (農地、農業用施設、集落排水施設)

3 林業被害

③〈林道「母成線」〉

【被害状況】

- 426箇所、6億3,114万円
- (1) 林地における山腹崩壊
 - (2) 林道施設における路体崩壊等
 - (3) 林産施設等における浸水被害

【復旧状況】※R3完了

- (1) 県営 災害関連緊急治山事業 1箇所
- (2) 市 林道施設災害復旧事業 16箇所
- (3) 林産施設 3箇所



相談窓口

相談の内容	担当課	電話番号
農業制度金融	農業振興普及部 農業振興課	0246-24-6160
農作物等の技術対策	農業振興普及部 地域農業推進課 経営支援課	0246-24-6161 0246-24-6162
林業・木材産業の融資	森林林業部 林業課	0246-24-6192
保安林内での土砂災害 (被害箇所の情報提供を含む)	森林林業部 森林土木課	0246-24-6198
農地・農業用施設 (被害箇所の情報提供を含む)	いわき市 農林水産部農地課	0246-22-1149

いわき地方におけるGAP認証農産物供給可能農場マップ

いわき農林事務所
令和5年4月1日現在

GAPって何？

GAPとは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全を3本柱に、定められた基準に沿って各農場毎のルールを決め、実行・記録・検証する取組のことです。「GAPをする」とは、農業者がGAPを自ら実践することで、「GAP認証をとる」とは第三者機関の審査により、GAPが正しく実践されていることが確認されることです。本マップの生産者はすべて、GAP認証を取得した生産者です。

②③：(株)ネクストファームいわき
連絡先：0246-88-8819

⑫：丸山雄三(楽・農・人ゆうゆうファーム)
連絡先：0246-83-3110

下記QRコードは県内のGAP認証を取得している生産者の情報が掲載されてある「ふくしま。GAPチャレンジ」です。是非、本マップ上の生産者情報もご確認ください！



福島県立磐城農業高等学校



⑧：JA福島さくらいわき梨部会GAP研究会
連絡先：0246-83-1122

⑩：安島美光(あじま農園)
連絡先：090-5597-7313

⑯：草野いちご園
連絡先：090-6453-8908

⑳：渡邊信行
連絡先：090-2793-5237

①：あかい菜園(株)
連絡先：0246-68-6969

⑯：鈴木義直
連絡先：0246-21-4852

⑫②：(株)たふいあ
連絡先：0246-68-8591

⑫⑦：小川保夫
連絡先：090-2950-4622

⑫⑪：磐栄アグリカルチャー(株)
連絡先：0246-96-6311

⑫⑩：安島美光(あじま農園)
連絡先：090-5597-7313

⑫⑦：園部新
連絡先：090-2602-4446

⑫⑥：草野庄一
連絡先：090-3756-4703

⑫⑮：(株)小川きのご園
連絡先：0246-38-5224

⑫⑮：(有)ユウ
連絡先：0246-43-0110

⑫②：(農)大野水耕生産組合
連絡先：0246-33-3434

⑫⑮①：遠藤清信
連絡先：080-5577-3760

⑫③：(株)JRとまとランドいわきファーム
連絡先：0246-38-8770

芳賀正道 ※※

⑫⑮①：久野淳一
連絡先：090-9538-8078

⑫⑮⑧：佐藤敬
連絡先：090-3756-8541

⑫④：(有)とまとランドいわき
連絡先：0246-68-6969

⑫⑮⑨：長瀬紘
連絡先：0246-23-3420

⑫⑮④：鈴木一成
連絡先：0246-34-3984

⑫⑥：JA福島さくらねぎ部会GAP研究会
連絡先：0246-32-3012

⑫⑦：JA福島さくらいわきいちご部会高設栽培研究会
連絡先：0246-34-3529

⑫⑮⑧：富士農苑(株)
連絡先：090-3368-6866

⑫⑮③：浜の野菜(株)
連絡先：0246-38-8807

NPO法人みどりの杜福祉会いわきワイナリー ※※

⑫⑨：いわき小名浜菜園(株)
連絡先：0246-76-1794

⑫⑤：(農)菊田の郷 助川農園
連絡先：090-1407-2188

⑫⑮④：(農)いわき菌床椎茸組合
連絡先：0246-56-0141

興味ある品目ありましたら直接事業者へお問い合わせください！！

※数量、単価等は事業者とご相談ください。

NO	農場名	認証取得品目	GAP種類				供給時期															
			GLO	ASIA	JGAP	FGAP	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
①	あかい菜園(株)	トマト ミニトマト			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
②	(農)大野水耕生産組合	トマト ミニトマト			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
③	(株)JRとまとランドいわきファーム	トマト ミニトマト			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
④	(有)とまとランドいわき	トマト ミニトマト パプリカ			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑤	(農)菊田の郷 助川農園	トマト			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑥	JA福島さくらねぎ部会GAP研究会	ネギ			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑦	JA福島さくらいわきいちご部会高設栽培研究会	いちご			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑧	JA福島さくらいわき梨部会GAP研究会	日本なし			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑨	いわき小名浜菜園(株)	トマト ミニトマト		○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑩	安島美光(あじま農園)	米(精米)			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑪	磐栄アグリカルチャー(株)	フリルレタス			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫	丸山雄三(楽・農・人ゆうゆうファーム)	フェイジョア			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑬	浜の野菜(株)	こまつな ほうれんそう			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

NO	農場名	認証取得品目	GAP種類				供給時期															
			GLO	ASIA	JGAP	FGAP	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
⑫⑮④	(農)いわき菌床椎茸組合	しいたけ				○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑤	株小川きのご園	しいたけ				○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑥	鈴木義直	米(玄米)			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑦	小川保夫	米(玄米)			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑧	富士農苑(株)	米(玄米)			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑨	草野秀穂(草野いちご園)	いちご			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑩	渡邊信行	キウイフルーツ			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑪	久野淳一	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑫	(株)たふいあ	米(玄米)			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑬	(株)ネクストファームいわき	トマト ミニトマト			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑭	鈴木一成	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑮	(有)ユウ	エリンギ			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑯	草野庄一	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑰	園部新	米(玄米)			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑱	佐藤敬	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑲	長瀬紘	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮⑳	平塚宏	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮㉑	遠藤清信	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑫⑮㉒	矢之目徳男	米			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※本資料は、いわき地方におけるGAP認証農産物の利活用を促進するために作成しました。

※※ブドウについては、ワイン用であるため、生食用としての供給はしていません。

福島県いわき農林事務所組織図

組織体制と主な業務内容

2023(R5)年4月1日

所長

次長

市外局番：0246 【所在地】〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地 県いわき合同庁舎3階

総務部

FAX:24-6159

総務課

TEL:24-6187

人事、服務、研修等／情報公開／収入・支出事務／入札・契約／危機管理

品質確保、
技術管理業務

農林土木工事の技術力・品質確保

企画部

FAX:24-6196

地域農林企画課

TEL:24-6152

地域農林業・農山村振興の企画・調整／各種情報収集・発信／地産地消／地域産業6次化／食育／農業団体等の指導監督／農地転用・農振除外等許認可／食品表示の適正化

農業振興普及部

FAX:24-6196

農業振興課

TEL:24-6160

農業経営基盤強化促進対策／補助・奨励事業／水田農業推進／畜産経営基盤強化推進／農畜産物の流通・販路拡大／農業金融／中山間地域等直接支払／特定家畜伝染病対策

地域農業推進課

TEL:24-6161

普及指導計画／集落営農の推進／中山間地農業の振興／経営所得安定対策／農業の6次産業化／青年農業者育成／スマート農業の推進／耕作放棄地対策／鳥獣被害対策／女性農業者育成

経営支援課

TEL:24-6162

認定農業者の育成／環境と共生する農業の推進／農業気象・農業災害対策／農産物の県モニタリング検査支援／GAP認証取得支援／就農促進・就農相談

農村整備部

FAX:24-6949

管理課

TEL:24-6182

土地改良事業の法手続き／土地改良財産の管理・処分／土地改良資金の融資／換地業務／砂利採取計画認可／用地取得・補償・登記／多面的機能支払交付金

農村整備課

TEL:24-6184

ほ場整備・農地中間管理機構関連／農道整備・広域農道／農地防災事業／水利施設の更新・長寿命化対策／事業の調査計画／農地・農業用施設災害復旧／農育の推進／国土調査

森林林業部

FAX:24-6179

林業課

TEL:24-6192

林業事業体の育成強化／林業担い手育成／緑化の推進／木材産業の振興／林業金融／特用林産物の振興／林産物一般の放射性物質検査／森林の整備／森林病虫害等の防除／県営林の管理／森林保全巡視／森林保険／林野火災の予防

森林土木課

TEL:24-6195

山地災害の防止・復旧／保安林の管理等／治山施設管理／林地開発の調整等／海岸防災林／林道の整備／林道災害復旧／林道台帳

【当所HP】

